

織研教室

ソーシャルキャピタルが充実

人と街と商いのリンケージ

松本 大地

高い創造研究所代表取締役

際立つ「生きやすさ」
ポートランドは、北米西
海岸に位置する人口約53万
人のオレゴン州最大の都
市。上にシアトル、下にサ
ンフランシスコの大都市に
挟まれ、日本での知名度は
低いものの、大自然の恵み
を生かした環境共生都市と
して脚光を浴びている街で
ある。この美しい環境を維
持するための市民の関心は

環境共生の仕組みが安住に

高く、市民活動が活発な街
として有名であり、そこか
ら生まれる社会関係資本
(ソーシャルキャピタル)
が充実している。

この街の定住人口の推移
は、年々緩やかな上昇を描
いている。交流人口も、ロ
ハス(LOHAS) 志向の
流れから多くの人が訪れる
ようになった。「ここに住
んでみたい」「また、ここを
訪れたい」という理由は、
生活の質、住み良さ、環
境、芸術・文化、そして市
民参加のつながりという、

トータルな「生きやすさ」が
際立っているからである。

ならば、行政が関与する
度合いが強いのか、という訊
でもなく、あくまでも行政
は市民が積極的に参加する
お膳立てをしているに過ぎ
ず、市民と一緒に課題を課
題を解決することがベース
になっている。それも人々
のつながりをつなげていく
解決方法がとられている。
例えば、ゴミ処理が増え

ることに對し、他の都市で
は新たな焼却場を増設する
が、ポートランドではリサ
イクル、リユース運動でゴ
ミ自体を少なくする方法を
選択する。いくつかのポー
トランドのカッティング・
エッジを紹介するが、ここ
では古いものを生かす知
恵、新しいことにチャレン
ジする行動力、そして街づ
くりへの熱い思いがあふれ
ている。

住民の愛が支える

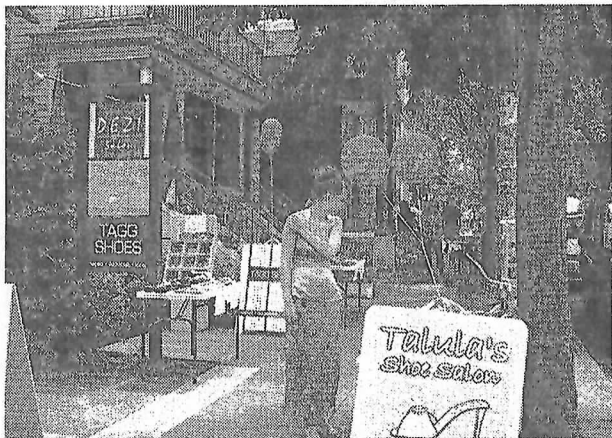
ダウンタウンの中心にあ
るパイクニア・コートハウ
ス・スクエアは、以前は駐

メインストリートに立ち並
ぶ個性的な商店街。代官山
と夏の旧軽井沢を合わせた
ような都会的センスとリッ
ポートライフの両方が楽しめる
界隈性があり、ここ10年
の間に開発された良質な街
歩き型ストリートショップ
ングである。ライフスタイ
ル型ショップのポツテリー
バーンやウィリアムソノマ
も、地元の商店や街区の景
観に合わせた店づくりをし
ている。

さらに、歴史的街並み保
全と融合したパールディ
ストリクト街区がある。ここ
は100年ほど前の工場や

レンガ造りの倉庫を再開
したエリアで、スタイリッ
シユなショップ、レストラ
ン、ギャラリーが街区、街
路に広がる。新人アーティ
ストを育成するために、毎
月第一木曜日は多くのギャ
ラリーが時間を延長し、発
表の場として提供し、常設
のイベントとなってきた。

パールディストリクトに
近接するマーケットでもポ
ートランドらしさを発見で
きた。3月からクリスマス
までの間、土曜と日曜に開
かれるサタデーマーケット
では、手作りの商品だけを
許可したオープンエアマー
ケットで、アートクラフト
品、絵描き、手作りの香水・



個性的な店舗が連なるノブヒルは
通称「トレンディサイド」

車場だった
場所を市民
がレンガブ
ロックを購
入する形で
建設費を捻
出し、憩い
の公園とな
り、街のシ
ンボルとな
っていった
経緯などポ
ートランド
らしさを感じ
る。

ノブヒル
は、ピクト
リア調の建
物が並ぶ高
級住宅街の

アロマ、フードなど500
以上の店が出店する。独創
的なモノづくりにこだわ
るポートランドらしさがあ
れている。
また、路面電車を中心
にした公共交通機関の発達、
近郊の有機栽培農家から仕
入れる多くのオーガニック
レストランでのローカルフ
ードの提供、そして地元ス
ーパーマーケットでの空き
缶、瓶を回収するリサイク
ルボックス設置など、隅々
に環境共生の仕組みができ
あがっている。
100年の歴史を持つパ
ラ園や、市内を流れるワイ
ラメット川沿いにあるリバ
ープレイスの開放的なレス
トラン街路、郊外にあるラ
イフスタイルセンターとし
ては完成度が高いブリッジ
・ポート・ヒレッジなども
魅力的なポートランドを形
成する一員として欠かせな
い。
伝統と革新が一緒にある
豊かなポートランドは、街
にエナジーがあり、元気が
伝わる街であり、街自体が
居心地の良いサロンのよう
な役割を果たしている。そ
の源泉は、人々の街に対す
る愛情であり、だからこそ
「人と街と商いのリンケー
ジ」がうまく融合して成長
しているのだから。
次世代における我が国の
街づくりやディベロップ
の商業開発、小売りの店づ
くりの大切なヒントがある
ようだ。